



つくる

タブレットを使うと、いろいろなアイデアを表現したり、友達と一緒にしりょうをつくったりすることができます。

ここでは、タブレットを使って何かをつくる時に知っておくべきことや気をつけるべきことについて学びます。


さいしょにチェックしてみよう

- わたしは、スライドを上手にデザインすることができると思う
- わたしは、作品をつくる時に、どんなことに気をつければよいかを知っていると思う
- わたしは、タブレットが動かなくなったときに、きちんと対応できると思う

クラスメイトに、あさがおのせい長の様子^{ちょう ようす}をしょうかいします。
どのスライドが^{ちょう ようす}つたわりやすいでしょうか。つたわりやすいじゅんにならべましょう。

1

5日後 ^{にちご}
1ヶ月後 ^{かげつご}
2ヶ月後 ^{かげつご}



なん しゃしん
何まいかの写真をのせたスライド

2



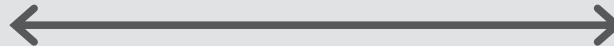
しゃしん
写真だけをのせたスライド

3

あさがおが
たくさんの花を
さかせました。

もじ せつめい
文字だけで説明したスライド

つたわりやすい



つたわりにくい

かいとう 答え

つたわりやすい

1

にちご
5日後



かげつご
1ヶ月後



かげつご
2ヶ月後



2



つたわりにくい

3

あさがおが
たくさんのはな
を
さかせました。

☆ スキルのポイント

もじ
文字だけでつたえるよりも写真などをつか
してスライドをつくるとつたわりやすくなります。

また、写真しゃしんを何なんまいかつか
って、あさがおのへん化かの様子もわかると、どのようにせい長ちようしたのかがつたわりやすくなり
ますね。



マネしてもよいのかな

すこう ぎょう え
図工のじゅ業で、絵をかくことになりました。

つぎ こうどう もんだい もんだい
次の3つの行動を、「○問題はない」「×問題がある」にわけてみましょう。

1

とも え じょうず
友だちの絵が上手だった
ので、すべてマネしてか
いて、先生に^{せんせい}てい出した^{しゅつ}

2

み え
ネットで見つけた絵が
じょうず
上手だったので、すべて
マネしてかいて、先生に^{せんせい}
てい出した^{しゅつ}

3

とも
友だちのアドバイスをさ
ん考^{こう}にして絵^えをかいて、
先生に^{せんせい}てい出した^{しゅつ}

○ ^{もんだい}問題はない A

B × ^{もんだい}問題がある

○ もんだい
 問題はない **A**

3
 とも
 友だちのアドバイスをさ
 ん考こうにして絵えをかいて、
 せんせい
 先生にしゅつてい出した

B × もんだい
 問題がある

1
 とも
 友だちの絵えが上手じょうずだった
 ので、すべてマネしてか
 いて、せんせい
 先生にしゅつてい出した

2
 ネットで見つけた絵えが
 上手じょうずだったので、すべて
 マネしてかいて、せんせい
 先生にしゅつてい出した


 スキルのポイント

じょうず ひと
 上手な人のマネをすることは、うまくなる近道ちかみちともいわれますので、マネをす
 ることは悪いことではありません。しかし、友だちの絵やネットで見つけた絵を
 かって
 勝手にマネして、じぶん え
 自分の絵としてしゅつてい出してはいけません。

せんせい
 先生や友だちのアドバイスをさん考こうにしながら、じぶん え
 自分ならではの絵をかいてみ
 ましょう。





タブレットが動かなくなったときは

あなたがタブレットを使って発表しりょうを作っていると、とつぜんタブレットが動かなくなってしまいました。
次の行動の中から、あなたならどうするかを1つえらんでください。

1

動くまで、**何度も強く**
タップしてみる

2

動くまで少し待ってみて
動かなければ**さい起動**
する

3

「**動かない!**」と
いって**大さわぎ**する

※「さい起動」とは一度電げん
を切ってもう一度電げんを
入れ直すことです。



せい 正かい

2

動かすまで少し待ってみて
動かなければさいきどうを
する

☆ スキルのポイント

タブレットを使っていると、とつぜん動かなくなることもあります。そんなとき、ついつい何度も強くタップしたり、「動かない！」と大さわぎしたりしてしまいたくなりますが、動かすまで少し待ってみるといのも大切です。

少し待って動かなければ、先生にそうだんしてからタブレットをさいきどうしてみましよう。





つくる

まとめ

じょうず つか 上手に使うために

え ぶんしょう しゃしん さくひん
絵や文章、写真などの作品について、つくった人以外は勝手にそれを使ってはいけないという権利のことを「ちょさくけん」と言います。

とも さくひん
友だちの作品をマネしたり、ネット上の写真や文章を勝手に使って作品を公開したりすることもできません。どうしても使いたいときは、つくった人に使ってもよいかを聞くようにしましょう。

チェックしてみよう

- わたしは、スライドを上手にデザインすることができる
- わたしは、作品をつくるときに、どんなことに気をつければよいかを知っている
- わたしは、タブレットが動かなくなったときに、きちんと対応することができる